



プレスリリース

クリティカル・エレメント(CEC)、純度99.9%の電池グレード炭酸リチウムを ROSEプロジェクトで採取した試験試料から製造

2012年4月25日、ケベック州モントリオール市: CRITICAL ELEMENTS CORPORATION
(トロントベンチャー取引所(TSX.V): CRE)、(米国店頭取引市場(OTCQX):
CRECF)、(フランクフルト証券取引所(FSE):
F12)は、炭酸リチウムを製造するため、ロシア輝石の浮遊選鉱処理を進展させています。

これまでに浮遊選鉱により炭酸リチウムの回収率91%を達成しています。さらなる試験作業を行うことにより、この回収率を94%範囲に向上させることが可能であると予想されています。

重点は、製造する炭酸リチウムの純度に置かれています。CECの意図は、製造されるすべての炭酸リチウムが電池グレード基準を満たすことにあります。高純度の電池グレードは、これまでに得られた純度99.9%のLi₂CO₃により容易に達成されています。塩湖または旧硫酸混和(old sulfuric acid pugging)工程から製造された炭酸リチウムに混入している主な不純物(マグネシウム、カルシウム、ナトリウム、カリウム)は、クリティカル・エレメント(CEC)により製造される炭酸リチウムには不在か、10ppm未満です。CECは、より高純度の製品を達成することに大きな問題を感じていません。「電池グレード」の称号を取得するには、炭酸リチウム製品の純度が最低99.5%である必要があります。

また、タンタルの回収率に関する作業も進行しています。浮選法、それに続く高勾配磁気分離法と重力分離法との組み合わせによりこれまでに達成した総回収率は60%であり、当初の予備的経済評価(PEA)での予測よりも10%高い回収率を実現しています。また、タンタル精鉱品から純粋なタンタル酸化物を製造するために必要な追加作業も実行されています。

ROSE鉱床の鉱物学な性質は均質です。それにもかかわらず、ばらつき特性の評価(該当する場合)を行うため、ロシア輝石の一次浮選に関する試験作業は継続しており、本鉱床のあらゆる部分から採取した一連の合成物の粉碎作業も行っています。

浮選パイロットプラントが、大量のロシア輝石精鉱を製造して高純度の電池グレード炭酸リチウムの製造とタンタル酸化物の製造に関する作業を完了するために今後数週間中連続稼働する予定です。この作業は、本実現可能性調査に必要な今後の工業用処理設備の詳細仕様を作成するために必要です。

「ベンチテストによってこれまでに製造した炭酸リチウムの品質は、「Roseリチウム・タンタルプロジェクト」の製品が世界の電池製造メーカーにより設定された電池グレード基準を容易に上回ることができることを実証しました」と述べたのは、クリティカル・エレメント・コーポレーション(CEC)社長兼CEOのジャン＝セバスチャン・ラバリー(Jean-Sébastien Lavallée)です。

本試験作業はブリティッシュコロンビア州バンクーバー市のAcme Metallurgicalによって実施されています。

地質学者、CECの株主、社長、経営最高責任者であるとともに情報開示基準NI 101に基づく有資格者であるジャン＝セバスチャン・ラバリー(Jean-Sébastien (OGQ#773)が、このリリースの技術的内容を審査して承認しました。

43-
Lavallée)

クリティカル・エレメント・コーポレーション(CEC)について

クリティカル・エレメント(CEC)は、ケベック州に位置する100%出資Roseリチウム・タンタル主要プロジェクトを積極的に展開しています。

タンタル精鉱に含有されるTa₂O₅の予想価格260米ドル/kg

(118ドル/ポンド)と炭酸リチウム(Li₂CO₃)の予想価格6,000米ドル/トンに基づいて最近行われたRoseプロジェクトの財務分析は、Roseプロジェクトの税引き後内部収益率(IRR)が推定で25%となり、割引率8%の税引き後正味現在価値(NPV)が推定で2億7,900万カナダドルとなることを示しています。返済期間は4.1年と推定されています。税引前IRRは33%と推定され、割引率8%の税引前NPVは4億8,800万ドルと推定されています。(鉱物埋蔵量ではない鉱物資源量は採算性を実証するものではありません)。

本プロジェクトは、最新の情報開示基準NI

43-101に基づく概測資源量

2,650万トン(品位1.30%のLi₂O等価または品位0.98%のLi₂Oおよび品位163ppmのTa₂O₅)と、予測資源量1,070万トン(品位1.14%のLi₂O等価または品位0.86%のLi₂Oおよび品位145ppmのTa₂O₅)をホストしています。

CECは現在、本実現可能性調査の対象となった各セクターへの入札を募集しています。GENIVAR社は前記地表施設に関する環境調査と実現可能性調査を実施しています。Ambuck and Associates社は本実現可能性調査を先導して同調査の鉱山設計を行っており、バンクーバーのAcme Metallurgical社は本プロジェクトの冶金面を取り扱っています。

クリティカル・エレメント・コーポレーション(CEC)のポートフォリオには、ブリティッシュコロンビア州ロッキーマウンテンとケベック州の希土類プロジェクトやタンタル・ニオブ・プロジェクトだけでなく、ケベック州に位置し、最新の情報開示基準NI 43-101に基づく精測・概測資源量506,700トン(金品位10.66g/t)、金量173,700オンス(カットオフ品位金5g/t)をホストするCroinorプロジェクトの権益50%も含まれます。

クリティカル・エレメント(CEC)株主様のお問い合わせ先:

有資格地質技師、社長兼CEOジャン＝セバスチャン・ラバリー(Jean-Sébastien Lavallée)
819-354-5146
president@cecorp.ca
www.cecorp.ca

Paradox Public Relations社
514-341-0408

メディア担当:

サラ・モロー(Sarah Moreau)
財務・法規制関連業務担当アドバイザー
H+K Strategies

514-395-0375、内線234

sarah.moreau@hkstrategies.ca

トロントベンチャー取引所またはその規制サービスプロバイダ
(トロントベンチャー取引所ポリシーの用語定義に基づく)は、
このリリースの妥当性または正確性についての責任を負いません。